

第4回

旧開智学校周辺景観まちづくり ワークショップ開催報告

「旧開智学校周辺地区」は松本市景観計画において、市の代表的建造物である旧開智学校を中心に眺望景観の保全と回遊を楽しむ景観作りが求められている地区として位置づけられています。景観まちづくりワークショップでは、この地区の景観的な魅力や課題を皆さんと掘り下げ、今後の景観まちづくりの目標やルールを考えています。

開催概要

第4回景観まちづくりワークショップでは、参加者の方々と第3回で検討した「暮らしと学びの共生の場」「2つの国宝の架け橋」というまちづくりの目標を達成するための景観のルールの在り方を探りました！

開催日時	開催場所	参加者数	テーマ
2026年 6月20日(土)	中央図書館3階	11名	まちづくりの目標を達成するための景観のルールの在り方



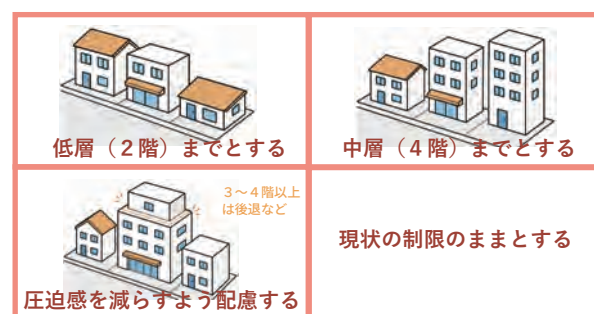
検討内容

下記1.~4.の景観ルールについて、3つの検討エリアのそれぞれで望ましさ・実現可能性の
度合や優先順位を検討しました。

また、検討範囲において5.「眺める」対象・場所も伺いました！

▼景観のルール

1.建物の大きさ



2.建物の外観



3.パブリックスペースの境界部

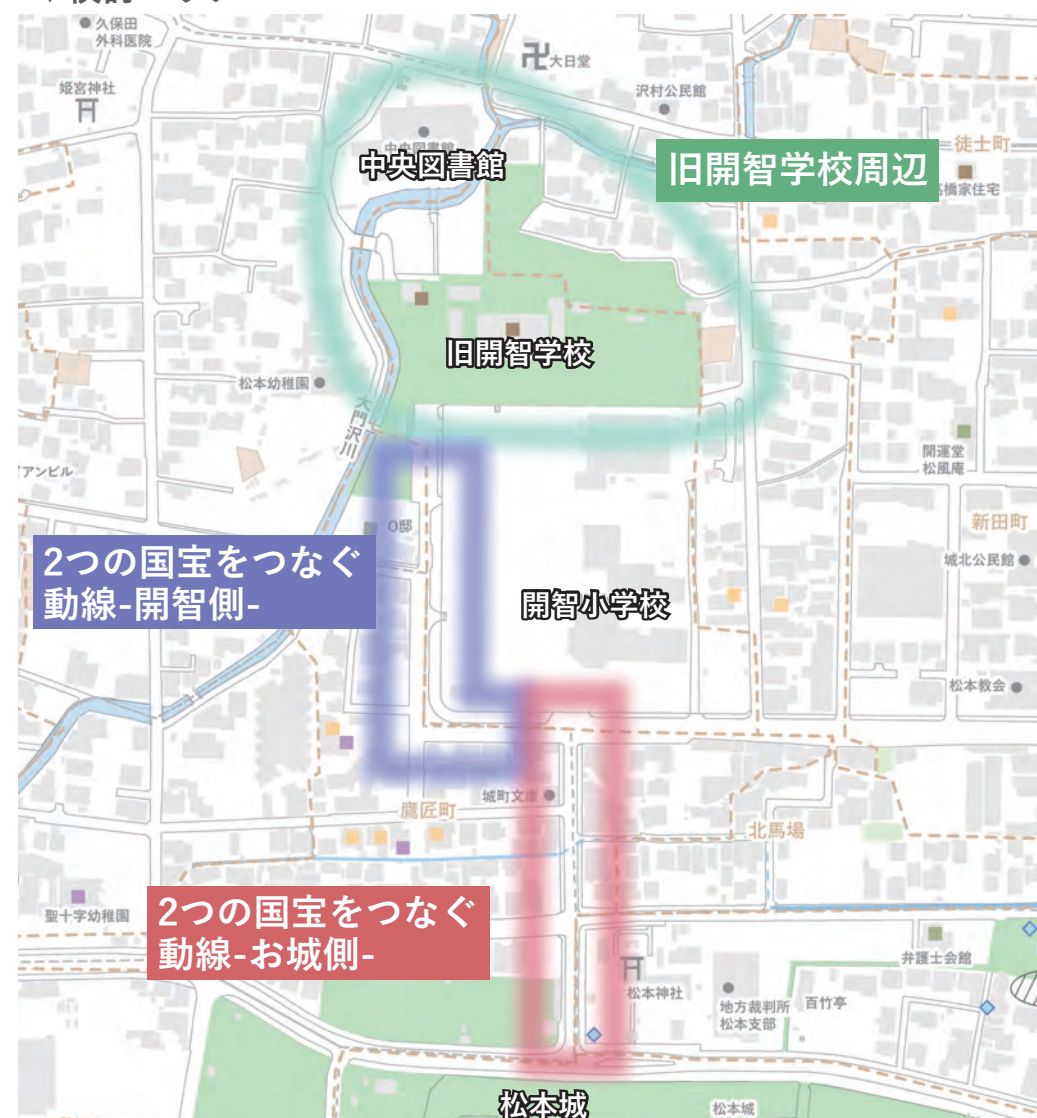


4.屋外広告物



5.「眺める」対象・場所

▼検討エリア



1. 建物の高さ

検討項目

- 低層（2階）まで

●3階まで

●中層（4階）まで

●圧迫感を減らす配置

●現状の制限のままとする

■旧開智学校周辺

- ・【低層（2階）まで】が望ましく、実現できるとの回答が多い。
理由）・元々閑静な住宅街であるため、建物を高くする必要はない
・また公園から北アルプスの眺めが映えるよう高さを抑えたい
- ・【中層（4階）まで】や【現状の規制のまま】は、望ましくないものの実現性は高いとの回答が多い。
理由）・住宅需要を見込み、厳しい高さ制限としない

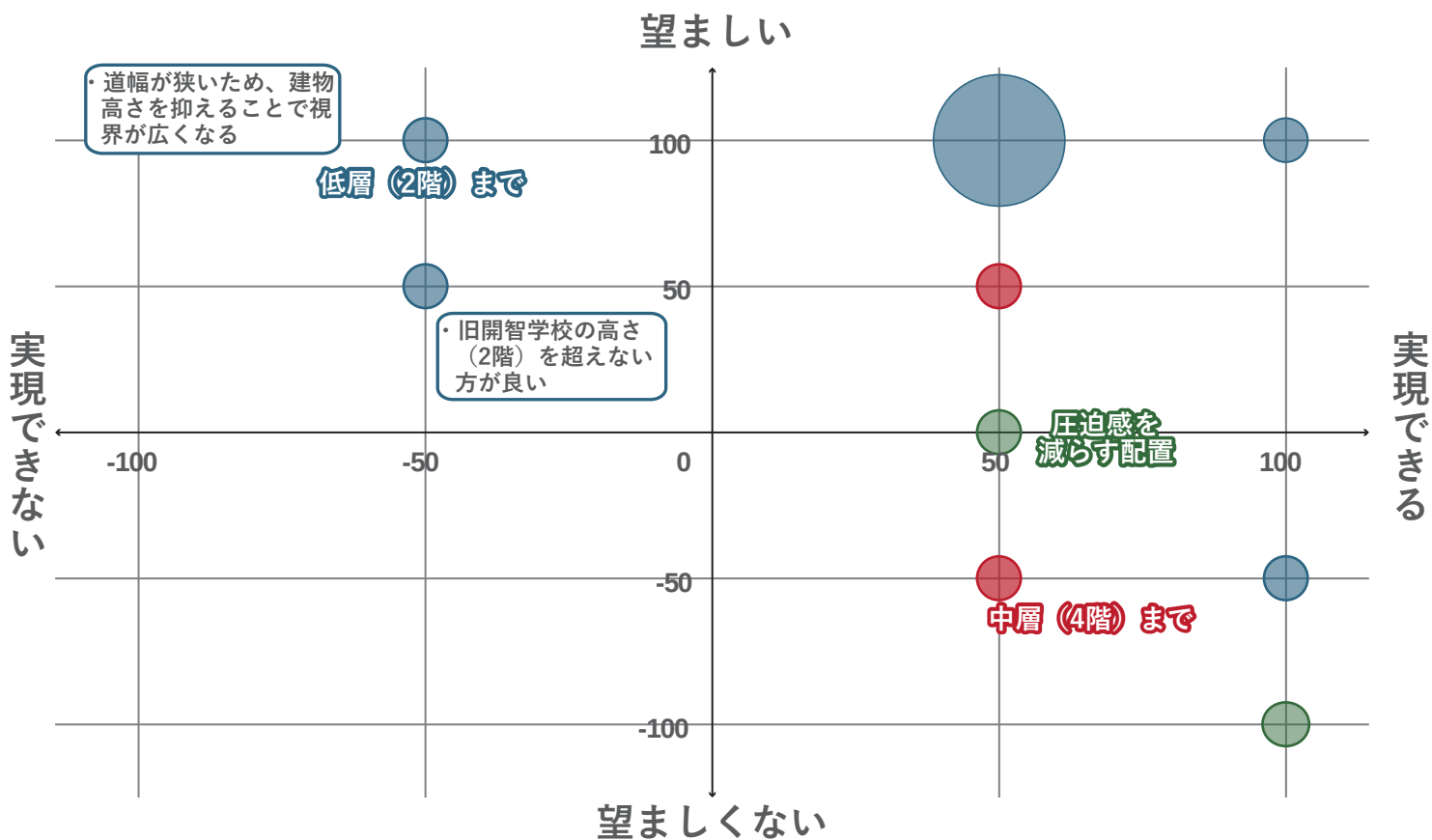
■2つの国宝をつなぐ動線-開智側-

- ・【低層（2階）まで】が望ましく、実現できるとの回答が多い。
理由）・道幅が狭いため、建物高さを抑えて視界を広くする
・旧開智学校の高さを超えない

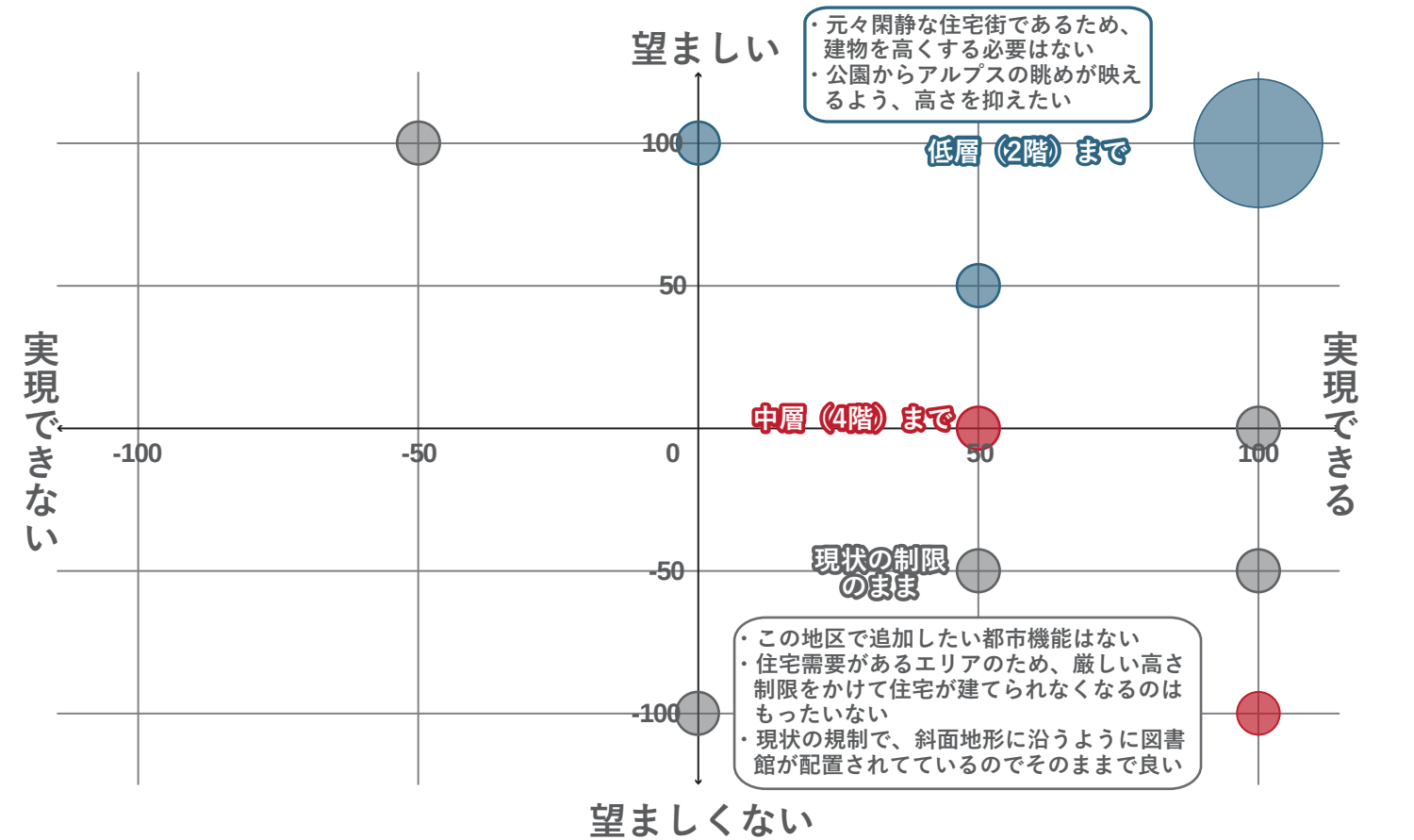
■2つの国宝をつなぐ動線-お城側-

- ・【圧迫感を減らす配置とする】ことが望ましいとの回答が多い。
理由）・本当は低層が良いが現実的ではないので、圧迫感を減らす工夫がしたい

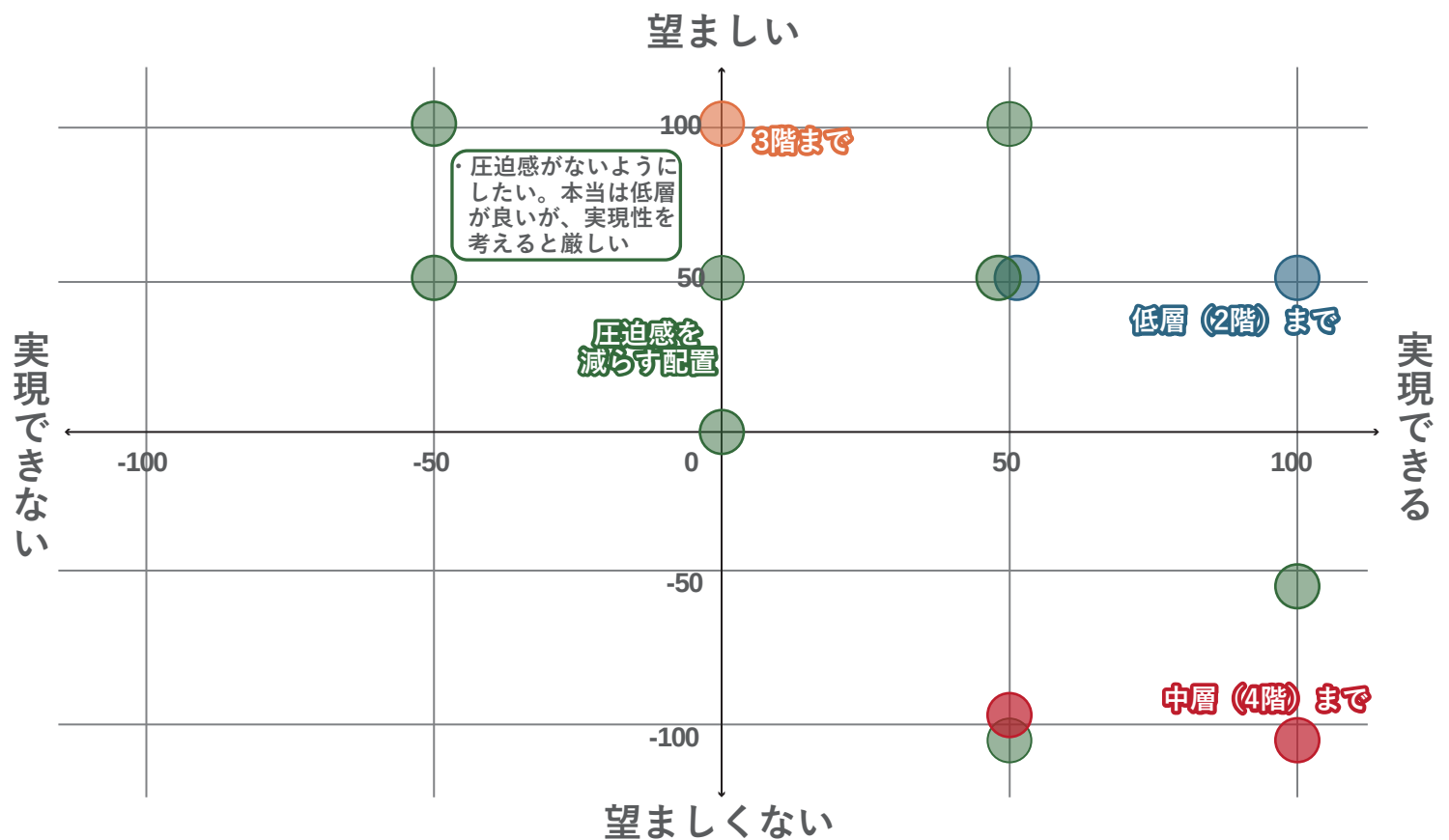
■2つの国宝をつなぐ動線-開智側-



■旧開智学校周辺



■2つの国宝をつなぐ動線-お城側-



2. 建物の外観

検討項目

- 木材などの自然素材を使用する
- 歴史的建造物と同じ色彩とする
- 1階の活動やにぎわいを見せる
- 落ち着いたある色彩とする
- 色彩や素材は制限しない

■3エリア共通

- ・色彩について、【落ち着いたある色彩にする】ことが望ましく、実現できるとの回答が多い。
理由）・素材に比べて色の統一の方がコストが低く、実現しやすい

■旧開智学校周辺

- ・素材について、住宅街のため、【木材などの自然素材を使用する】などの素材の統一は望ましくも実現できないとの回答が多い。

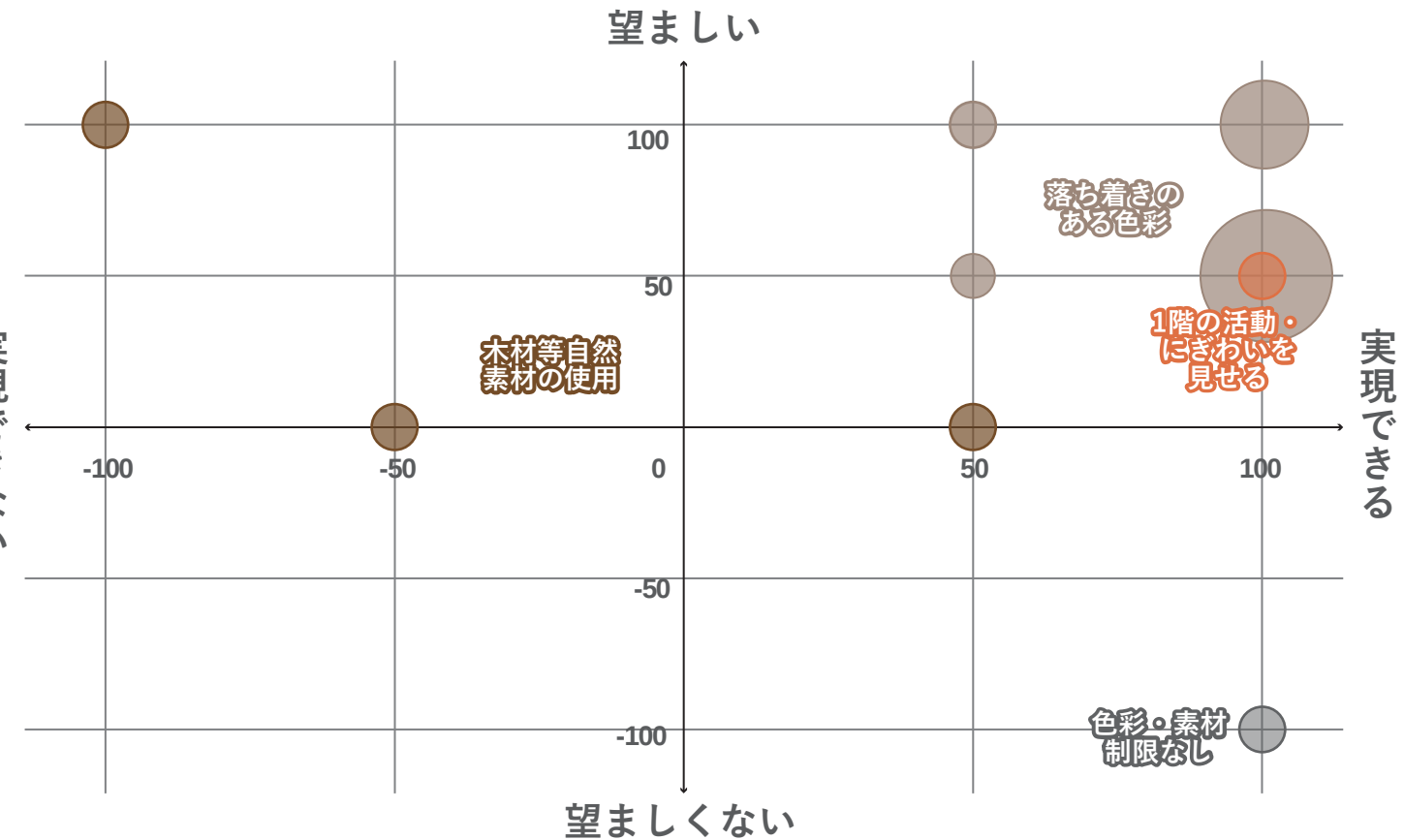
- 理由）・コストが高い
- ・作り物感を出したくない

- ・【1階の活動やにぎわいをみせる】ことも望ましいとの回答も多くある。
理由）・夜でも誰かがいるシーンを作ることによって安全を確保できる

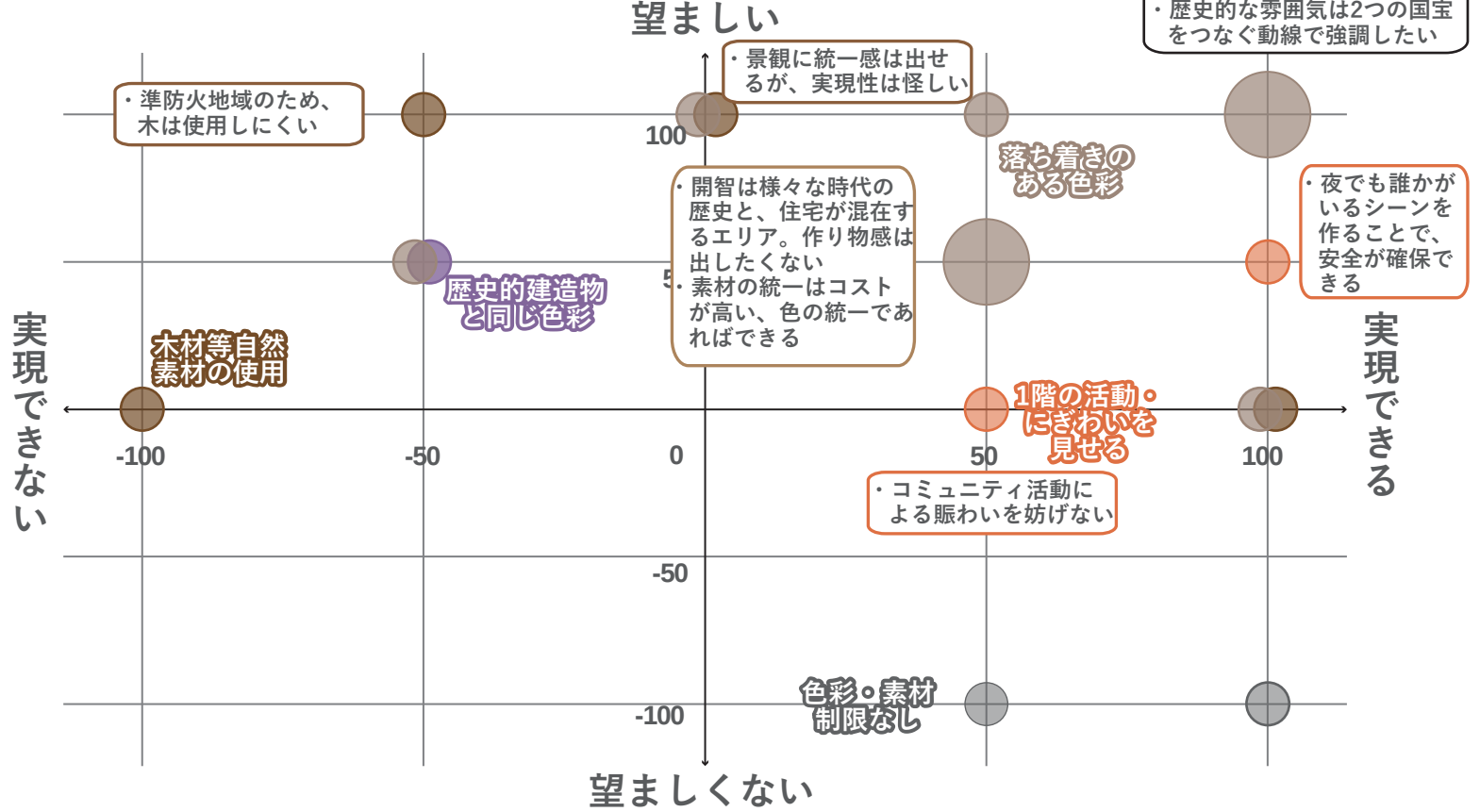
■2つの国宝をつなぐ動線-お城側-

- ・【1階の活動やにぎわいをみせる】ことが望ましく、実現できるとの意見が多い。

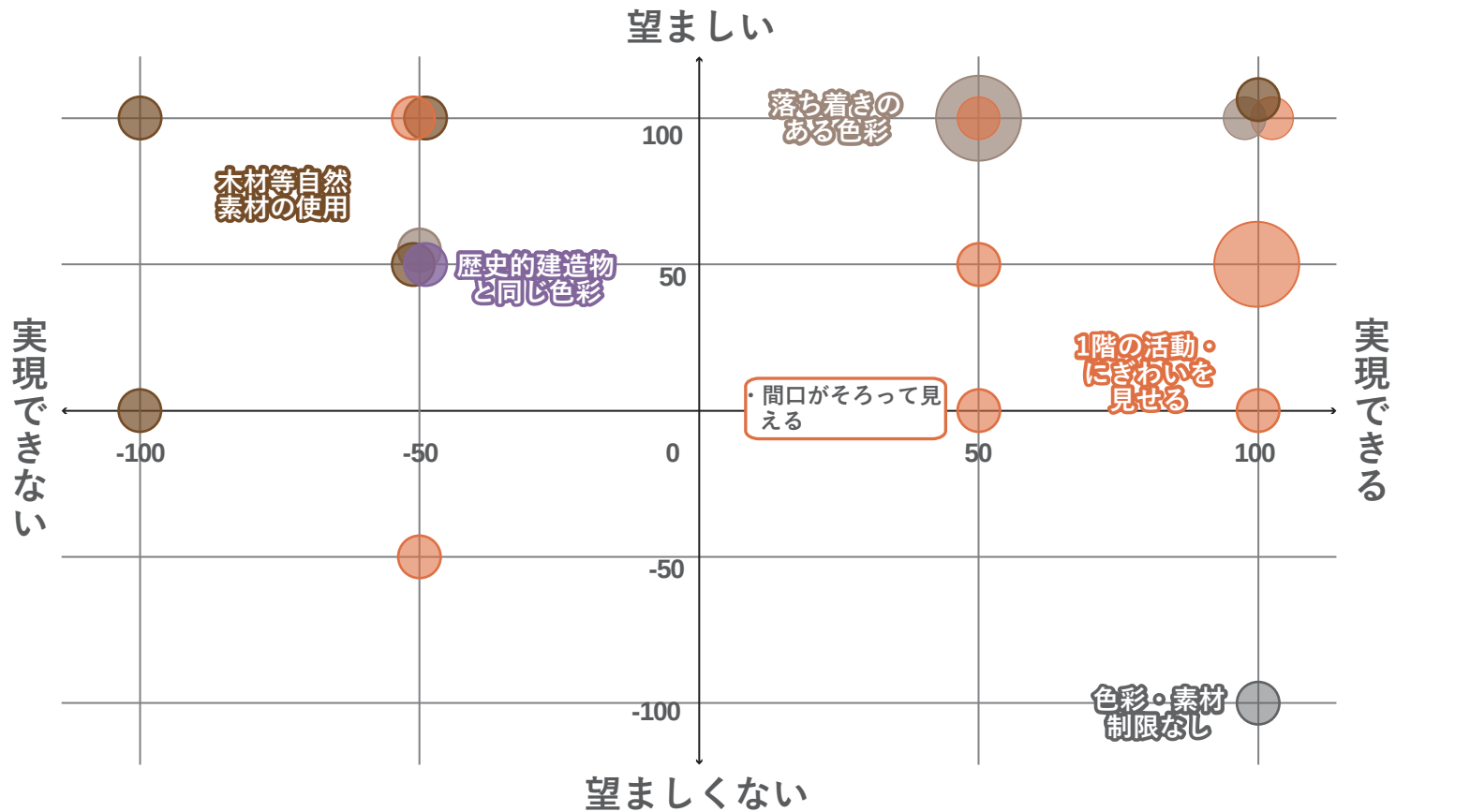
■2つの国宝をつなぐ動線-開智側-



■旧開智学校周辺



■2つの国宝をつなぐ動線-お城側-



3. パブリックスペースの境界部

検討ルール

- | | | |
|----------------|-------------|---------------|
| ● 柵・フェンスの設置禁止 | ● 緑化実施 | ● 駐車場立地・出入口制限 |
| ● 透過性のある柵・フェンス | ● 前庭・滞留空間設置 | ● 車が見えないよう修景 |
| ● 室外機の修景 | | |

■ 室外機の修景

- ・3つのエリアで共通して、望ましく、実現できるという回答が多い。
理由) ・お城側では、回遊を促すため、生活必要な施設や目立つ設備は修景が必要

■ 緑化の実施

- ・旧開智学校周辺及び開智側の動線で、望ましいとの回答が多いが、実現性は意見が分かれた。
理由) ・旧開智学校から緑を連続させ、回遊性を高めたい
・維持管理が大変

■ 前庭・滞留空間の設置

- ・お城側の動線では望ましいの回答が多いが、旧開智学校周辺では実現できないとの回答がみられた。
理由) ・道も広く、松本城からの人の流れを受け止めて回遊を促すポテンシャルがある
・住宅地には必要ない

■ 柵・フェンスの設置禁止、透過性のある柵・フェンス

- ・旧開智学校周辺で柵・フェンスの設置禁止や透過性のあるものが望ましいが、実現性は意見が分かれた。
理由) ・住宅街では防犯上必要のため、圧迫感を抑えたい

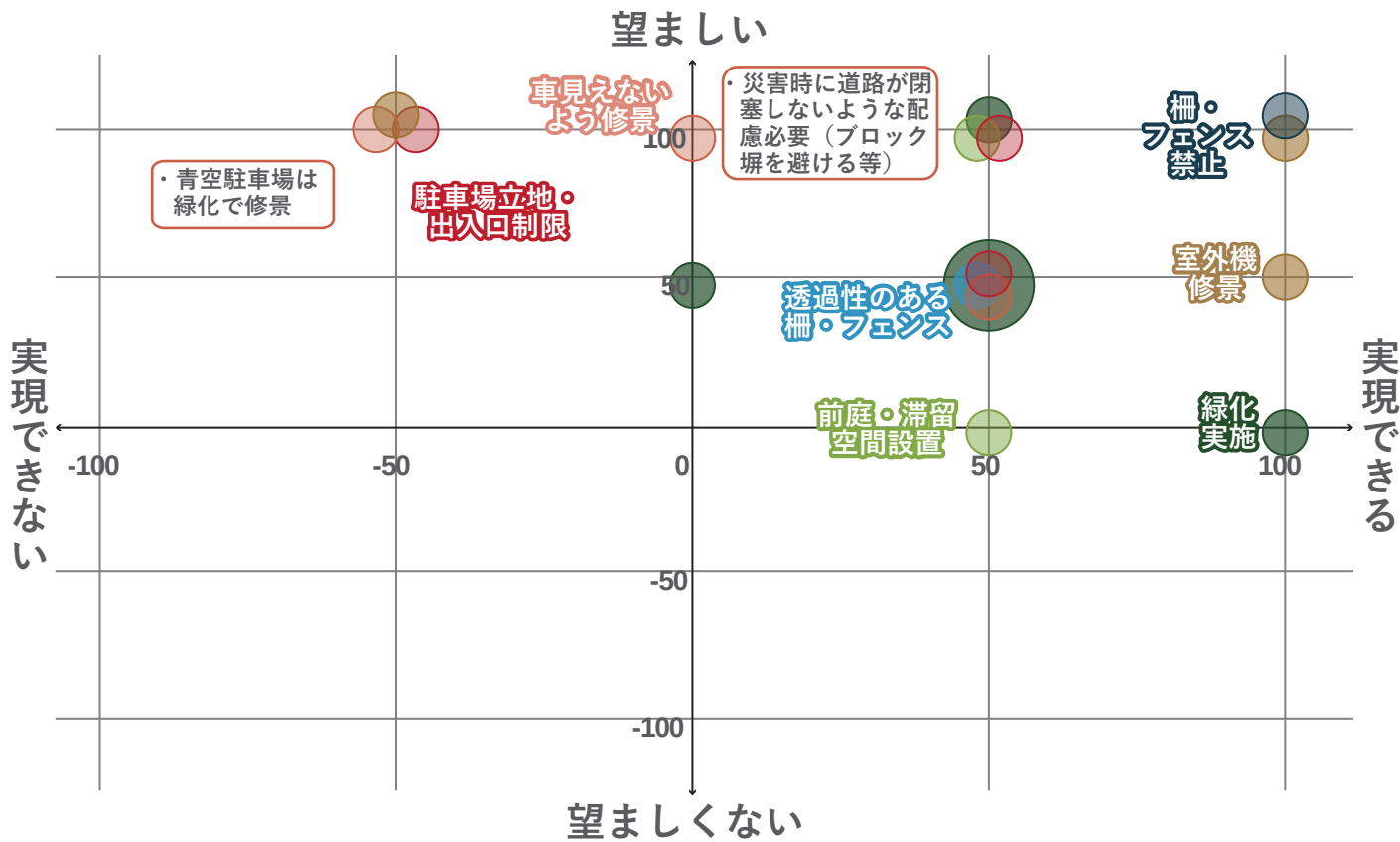
■ 駐車場の立地・出入口の制限

- ・3エリア共通して、望ましいが実現出来ないの回答が多い。
理由) ・駐車場の立地や歩行者を主役とするハード整備はエリア全体の交通を考えて公共主体で実施が
・空家の駐車場への転換は制限すべき

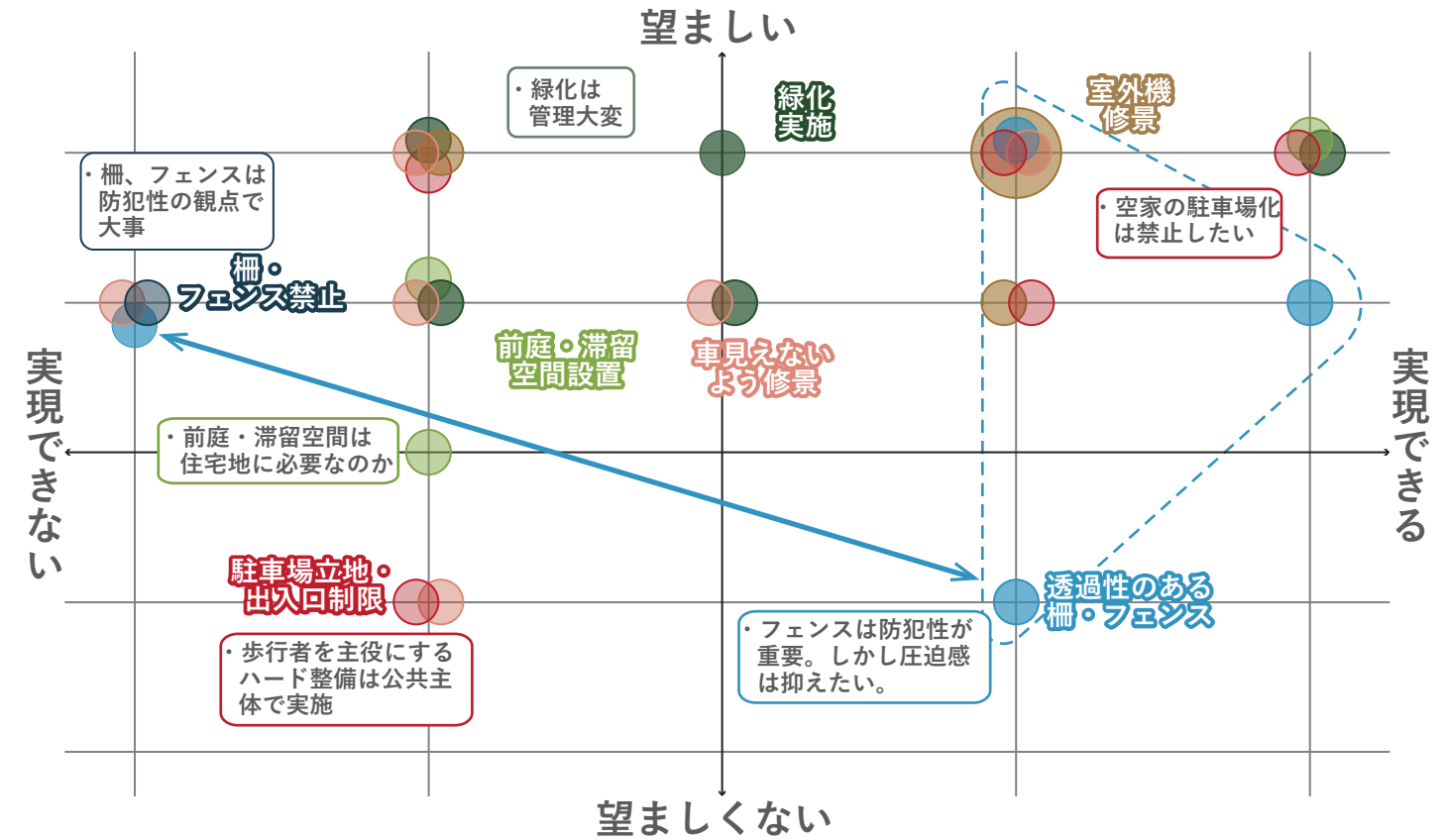
■ 車が見えないよう修景

- ・3エリア共通して、望ましいとの回答が、実現はできないとの回答が多い。
理由) ・2つの国宝を結ぶ動線では回遊を促すため青空駐車場の緑化が必要
・災害時を想定し、ブロック塀は避けるとの意見も挙がった。

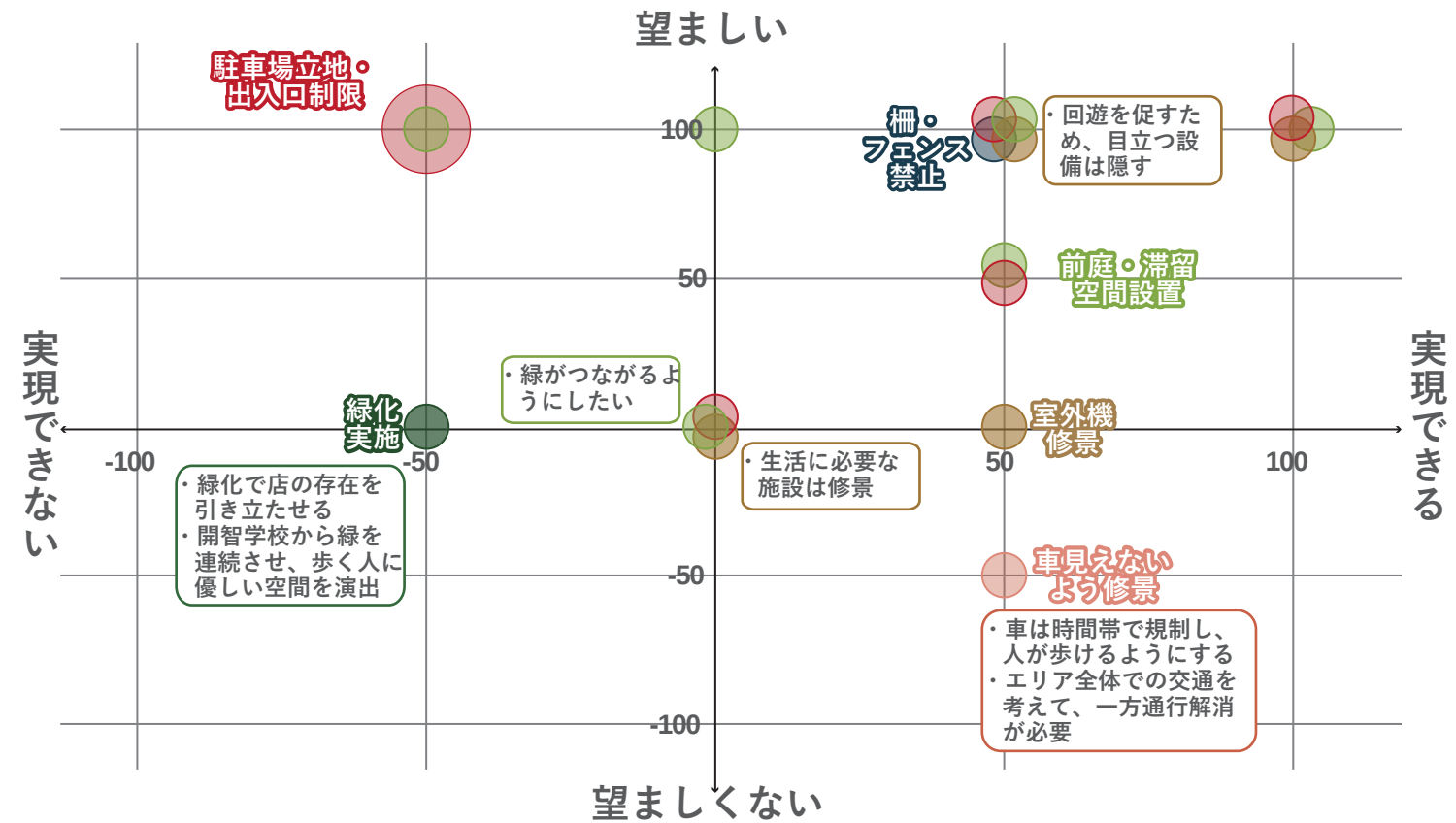
■ 2つの国宝をつなぐ動線-開智側-



■ 旧開智学校周辺



■ 2つの国宝をつなぐ動線-お城側-



4 屋外広告物

検討項目

- 趣のあるものにする

● 住宅地に配慮した色彩や大きさとする
- 公共サインの色やデザインを統一する

● 屋外広告物は制限しない

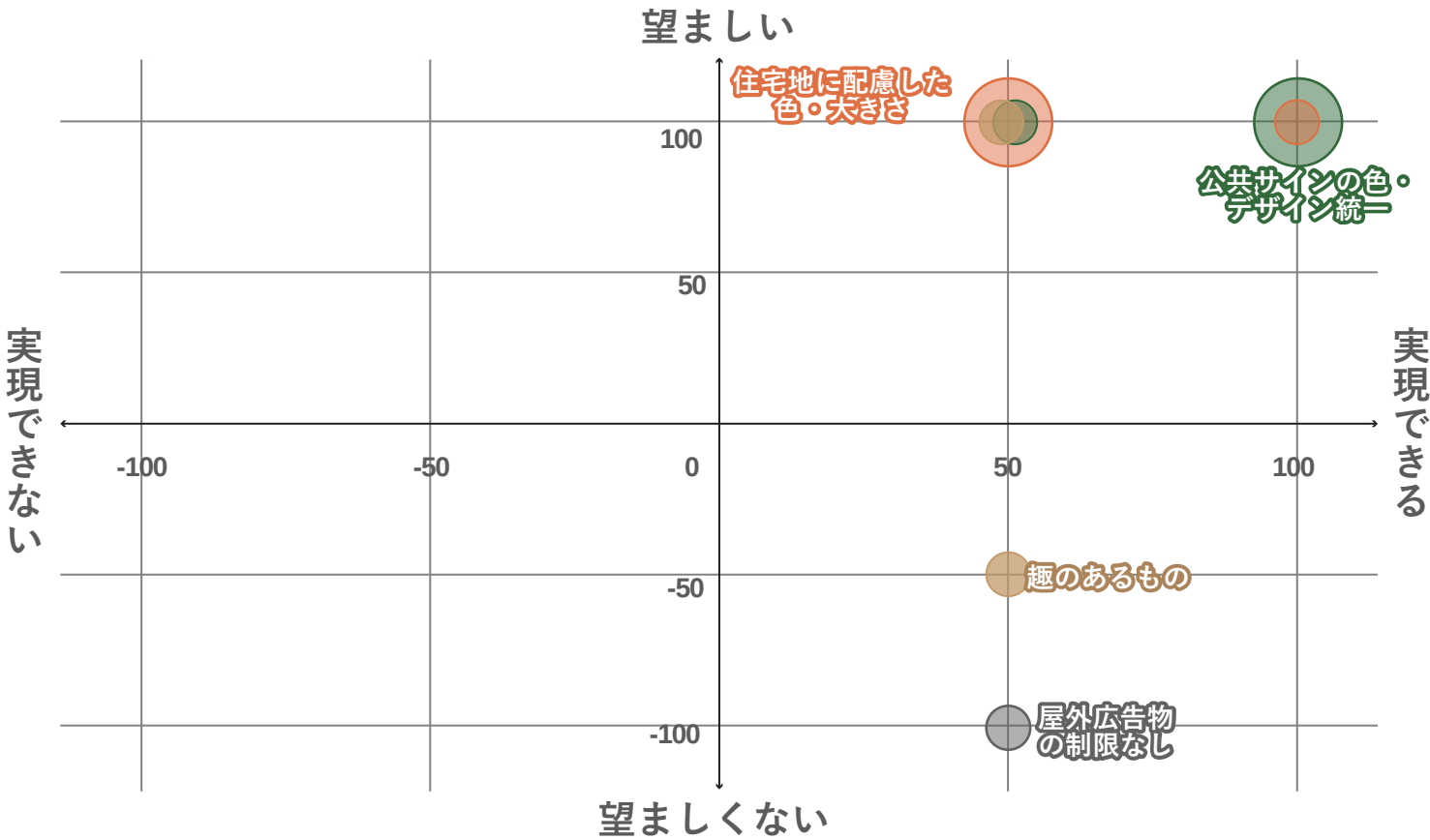
■3エリア共通

- 【公共サインの色・デザインを統一する】ことが望ましく、実現できるとの回答が非常に多い。
- 【住宅地に配慮した色・大きさにする】ことが望ましく、実現できるの回答が多い。
理由）・ 宣伝内容に応じて趣のあるものにするが、基本は控えめな大きさ、数にしたい
・ ある程度個性に委ねて、必要以上に統一しない

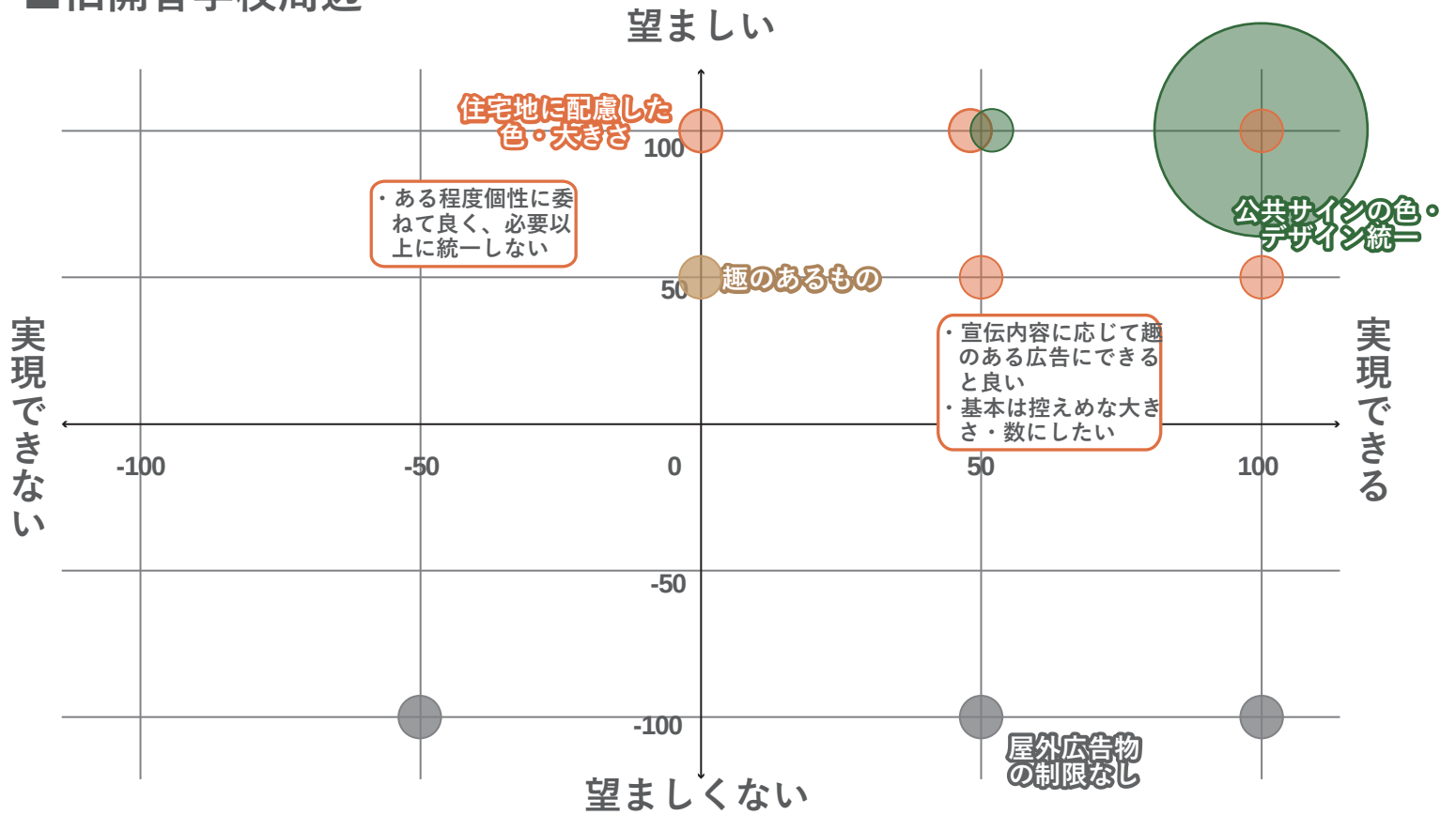
■2つの国宝をつなぐ動線-お城側-

- 【趣のあるものにする】ことが望ましく、実現できるの回答が多い。

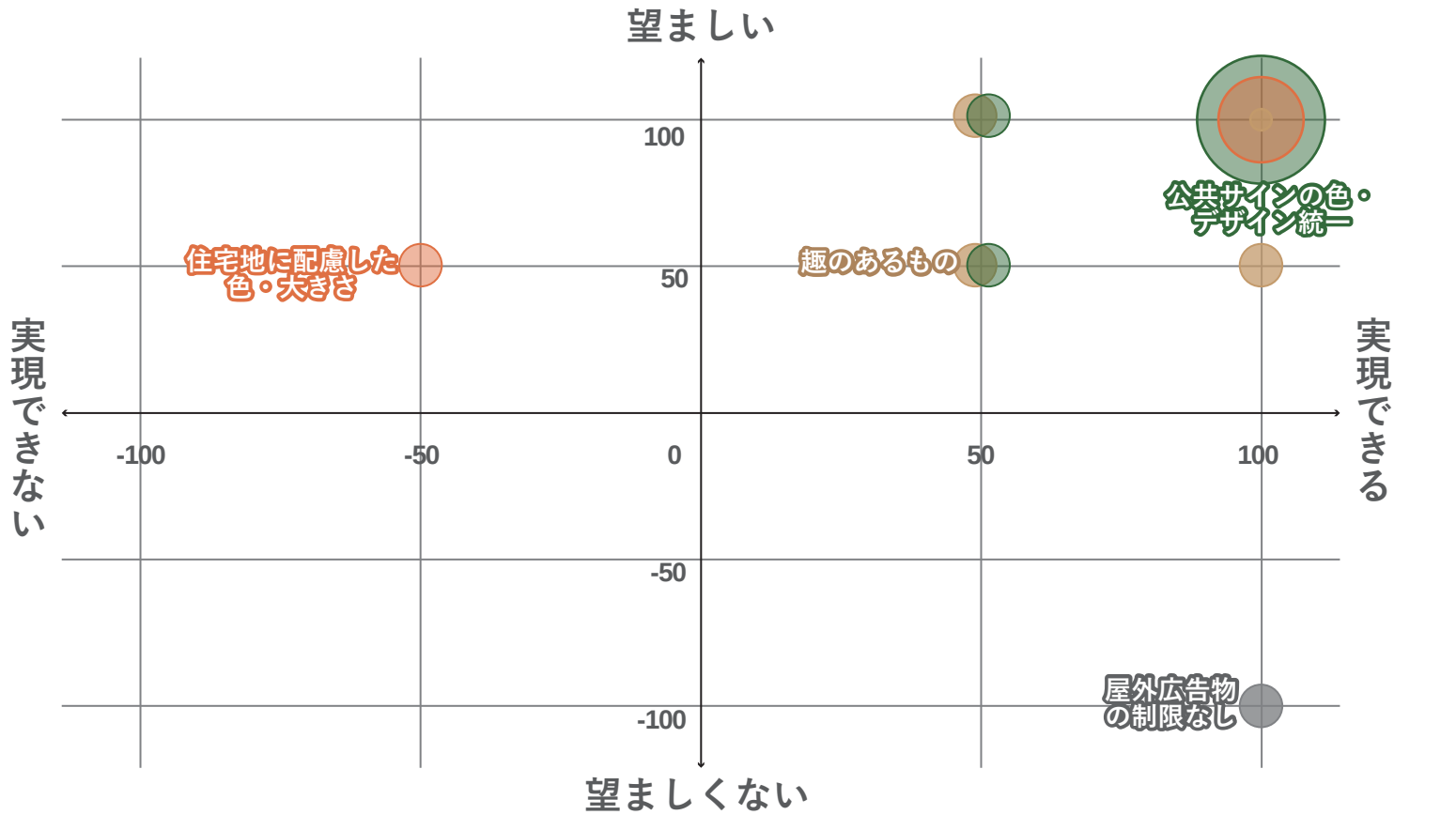
■2つの国宝をつなぐ動線-開智側-



■旧開智学校周辺



■2つの国宝をつなぐ動線-お城側-



5 「眺める」対象・場所

中央図書館3F、①開智小学校前 ⑥2つの国宝をつなぐ動線（お城側）上の郵便ポスト ⑦⑧松本神社は、北アルプス、旧開智学校、松本城の3方への眺めが取れる場であるとの意見が挙がった。

■「眺める」対象

- 山
 - ・北アルプス
 - ・乗鞍山
 - ・美ヶ原
- 旧開智学校
- 松本城

■「眺める」場所(眺望点)

- ①中央図書館3F
- ②旧開智学校前
- ③旧開智学校裏
- ④2つの国宝をつなぐ動線（開智側）上
- ⑤開智小学校前
- ⑥2つの国宝をつなぐ動線（お城側）上の郵便ポスト
- ⑦⑧松本神社

【2つの国宝をつなぐ動線上】
旧開智学校への主要な動線であり、北アルプスの眺めを確保するため電線地中化が望ましい

【中央図書館3F】
すべてのランドマークが一望できる

【旧開智学校裏】

【旧開智学校前】

【開智小学校前】

【2つの国宝をつなぐ動線上の郵便ポスト】

【松本神社】

北アルプス

旧開智学校

乗鞍山

松本城

美ヶ原

町会区域

公園

水面

畑

山林

その他自然地

町丁目

湧水

文化財

文化住宅

景観賞受賞建物

松本市近代遺産

寺

神社

まとめ

建物の大きさ

- 旧開智学校周辺、2つの国宝をつなぐ動線（旧開智側）
 - ・「低層」の望ましさ・実現性が高い一方、「中層」「圧迫感を減らす配置」の実現性が高い
 - ・住宅需要が高いエリアのため、「現状の制限のまま」とする意見もある
- 動線（松本城側）
 - ・「圧迫感を減らす配置」の望ましさ・実現性が高い

建物の外観

- 全体
 - ・様々な時代の歴史的建造物と住宅の混在がエリアの特徴であり、作り物感を出す景観誘導はしたくないという意見がある
 - ・「素材」よりもコストが低い「色彩」の方が景観誘導しやすい
 - ・準防火地域でもあり、「木材等自然素材の使用」の実現性は低い
- エリア別
 - ・動線（松本城側）では「1階の活動・にぎわいを見せる」の望ましさ・実現性が高い。夜間の安全性やコミュニティ活動のために、他エリアでも若干求められている。

パブリックスペースの境界部

- 全体
 - ・室外機の修景は妥当性・実現性が高い
 - ・「柵・フェンス」は防犯性の観点で、実現性の意見が分かれる
 - ・「駐車場の立地や出入口の制限」は実現性の意見が分かれており、エリア全体の交通を踏まえた検討や空地の駐車場転換防止が求められている。
- エリア別
 - ・「緑化」は動線（旧開智側）での妥当性・実現性が高いが、旧開智周辺で実現性の意見が分かれる
 - ・「前庭・滞留空間」の妥当性・実現性は高いが、旧開智周辺は住宅地のため、実現性が低い

屋外広告物

- ・「屋外広告物」は基本的に住宅地への配慮があればよいが、2つの国宝をつなぐ動線では趣のある広告を求める意見もあった。
- ・「公共サイン」の統一は妥当性・実現性ともに非常に高い。

眺め

- ・山と国宝への眺めが期待できる眺望点として、「中央図書館3階」「開智小学校前」「動線上の郵便ポスト」「松本神社付近」が挙げられた。